

「統計グラフコンクール作品作成における指導事例」

西米良村立西米良中学校

教諭 小野 賢太郎

内 容

- 1 統計グラフコンクールとこれまでの取組
- 2 統計グラフコンクールに参加する意義
- 3 「第48回宮崎県統計グラフコンクール」指導事例
- 4 「第64回統計グラフ全国コンクール」総務大臣賞受賞作品紹介
- 5 考察
- 6 今後の取組

1 統計グラフコンクールとこれまでの取組

平成16年度

- 第36回宮崎県統計グラフコンクール 学校賞受賞

平成17年度
以降

- 統計グラフコンクール 応募
- 算数・数学自由研究「作品コンクール」 応募

平成28年度

- 第48回宮崎県統計グラフコンクール 学校賞受賞
- 第48回宮崎県統計グラフコンクール 知事賞受賞
- 第64回統計グラフ全国コンクール 総務大臣賞受賞

2 統計グラフコンクールに参加する意義

(1) 統計グラフは人を動かす・社会を変える

(2) 統計グラフ作成は、学習した内容と現実社会との懸け橋

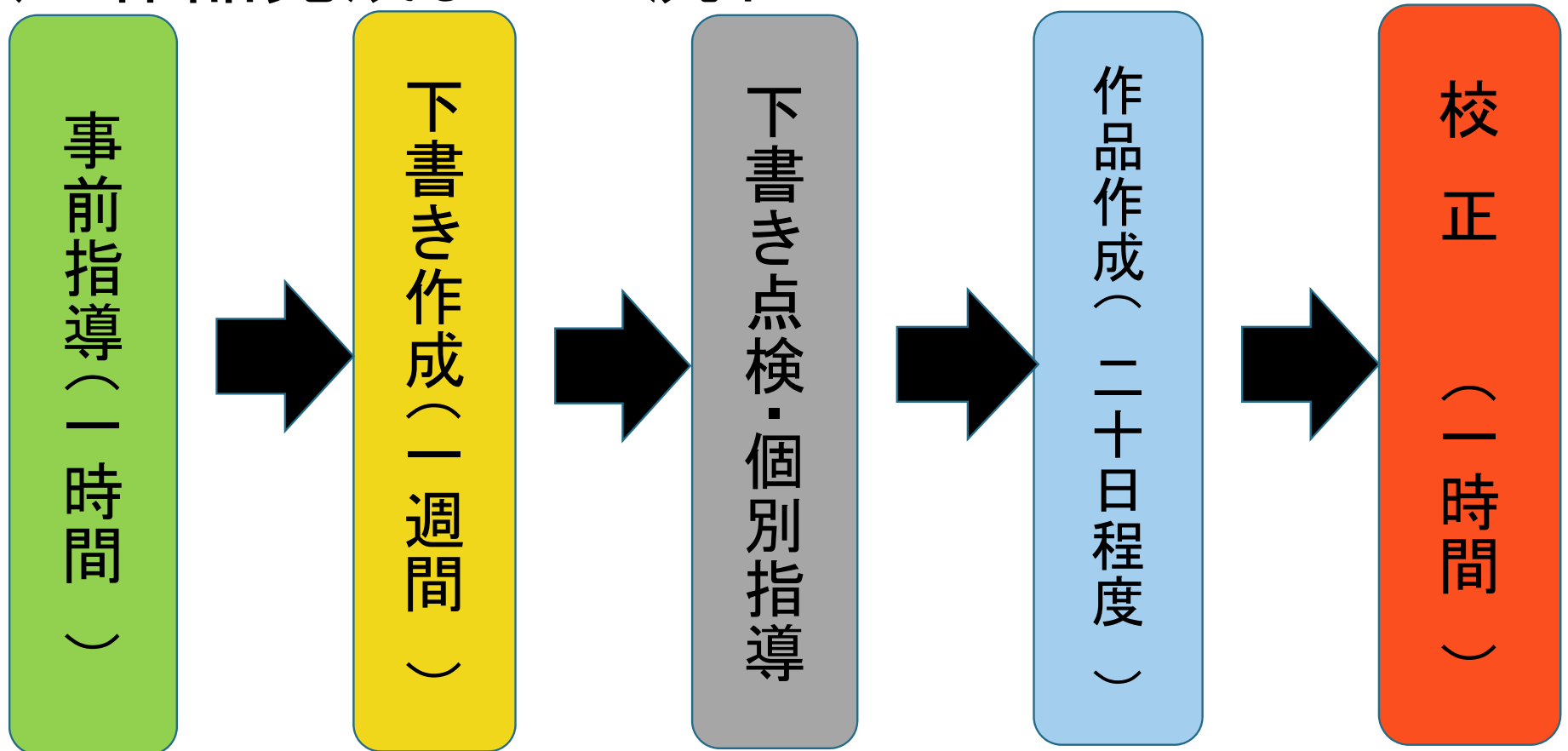
(3) 統計グラフ作成を通して、主体的な学びを体感できる

3 第48回宮崎県統計グラフコンクール指導事例

- (1) 数学科の夏季休業中の課題
- (2) 第4部に応募(中学校の生徒 対象)
- (3) ほぼ全校生徒が作成

3 第48回宮崎県統計グラフコンクール指導事例

(4) 作品完成までの流れ



(5) 事前指導での指導内容

- ① 興味・関心が強いものをテーマに！
- ② 自分にしか作成できない作品を！
- ③ インパクトのあるタイトルを！
- ④ 深めよう！
疑問→調査→新たな疑問→調査・・・
- ⑤ 物語のような展開を！

統計グラフ下書き (両面) 8月1日 (月) 提出

年 組 ()

タイトル について

① **調べたいこと** 調べようとするところがらと、なぜそれを調べようと思ったきっかけや疑問点、予想などを書く。

② **資料の収集** 実際に調べた内容とその方法を書く。

③ **資料の整理** 実際に調べた内容を表やグラフにする。自分らしく工夫して！！

表やグラフなど

表やグラフなど

④ **調べて分かったこと** 整理した資料を分析してわかったことを書く。その際、傾向を読み取った特徴的な値など、わかったことの根拠も明確にする。調べる過程で新たに疑問に思ったことや、さらに調べてみたいことも書く。

⑤ **参考にした資料** 参考にした資料本のタイトル、著者名やホームページのタイトル、アドレスを記入する

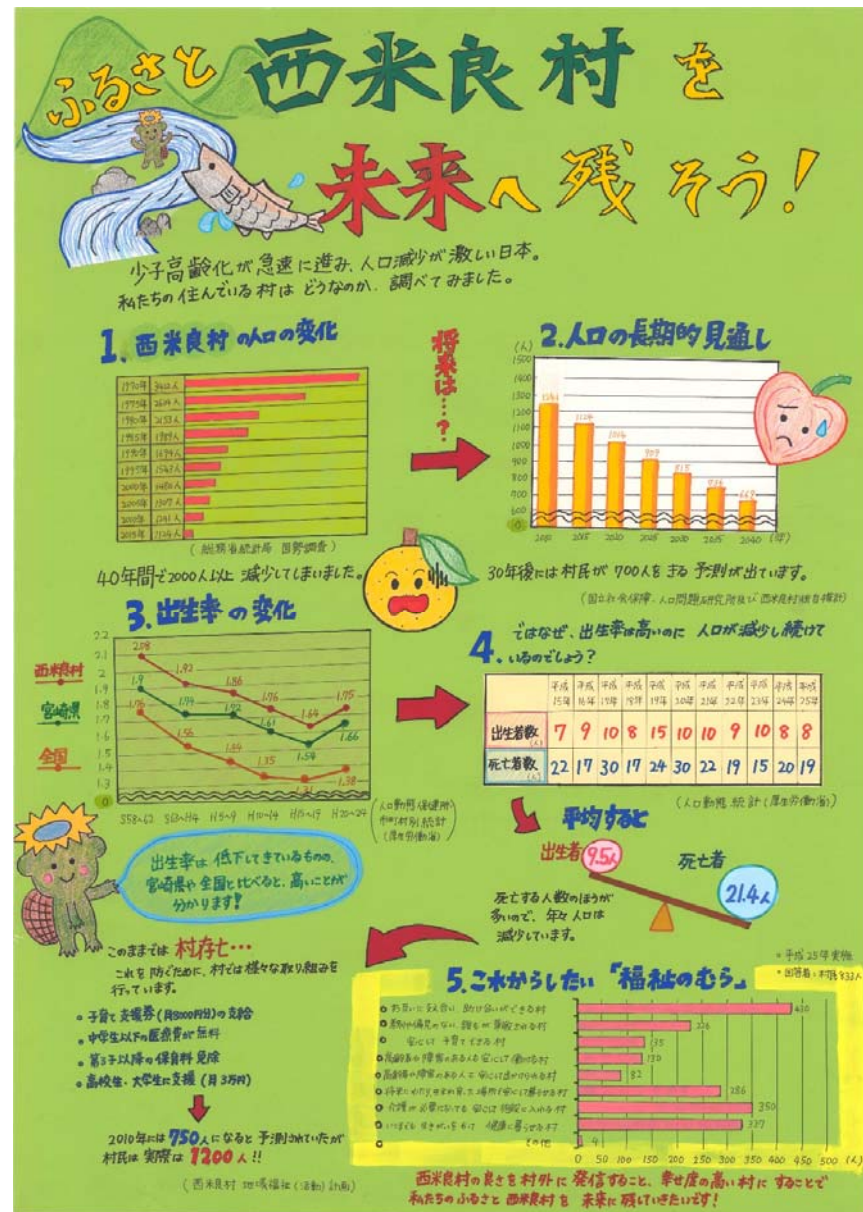
4 作品紹介

第64回統計グラフ全国コンクール

「総務大臣賞受賞」作品

「ふるさと西米良村を未来へ残そう！」

西米良村立西米良中学校
3年 吉丸日葉



ふるさと 西米良村を

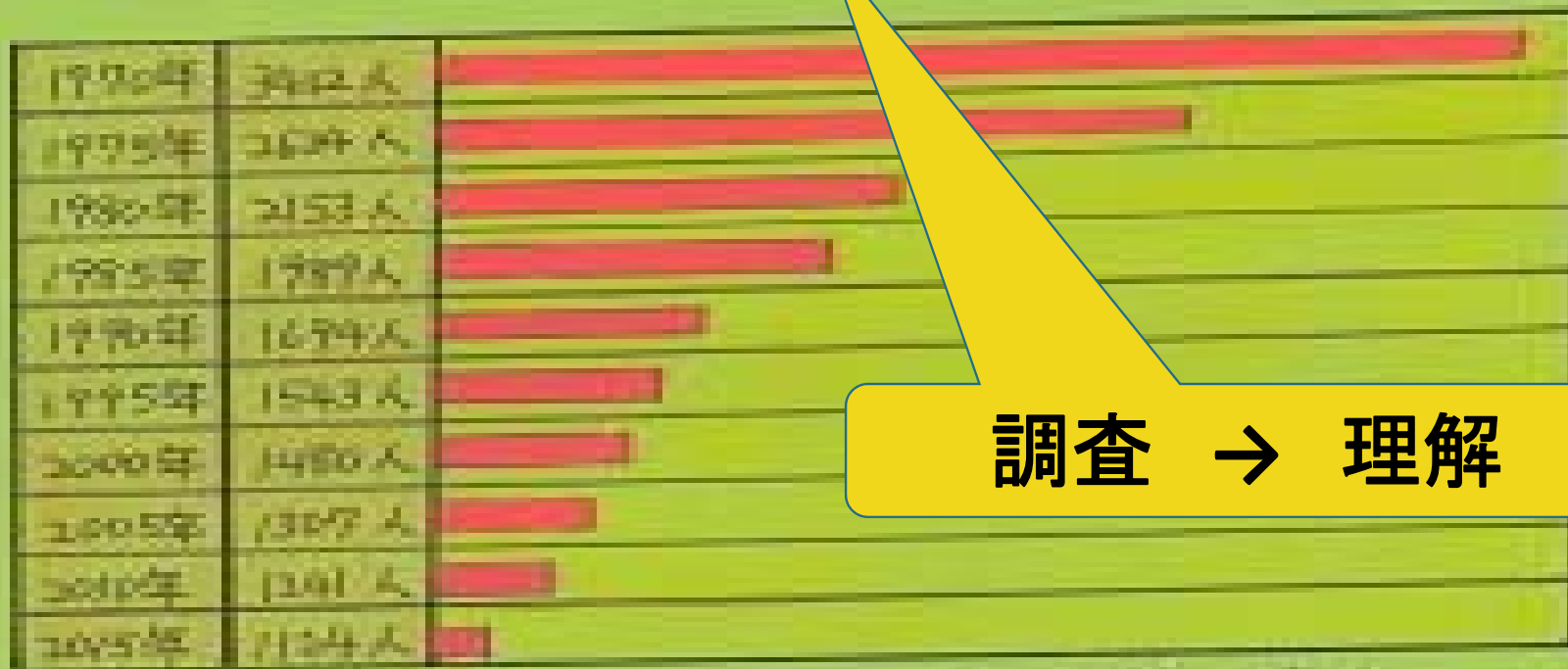
未来へ残そう!

疑問の発生

少子高齢化が急速に進み、人口減少が激しい日本。
私たちの住んでいる村は どうなのか 調べてみました。

問題の設定

1. 西米良村の人口の変化

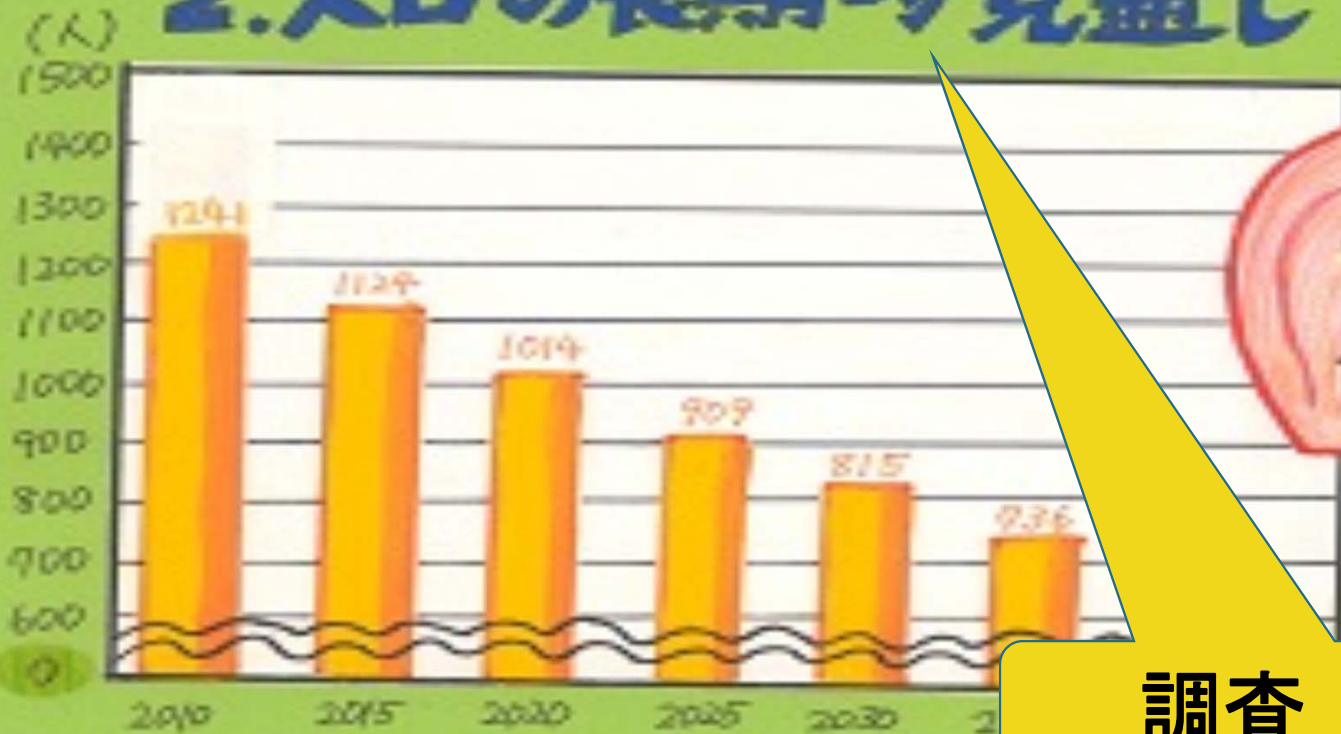


調査 → 理解

(総務省統計局 国勢調査)

40年間、2000人以上減少してしまいました。

2.人口の長期的見通し



調査 → 理解

30年後には村民が700人を超える予測が出ています。

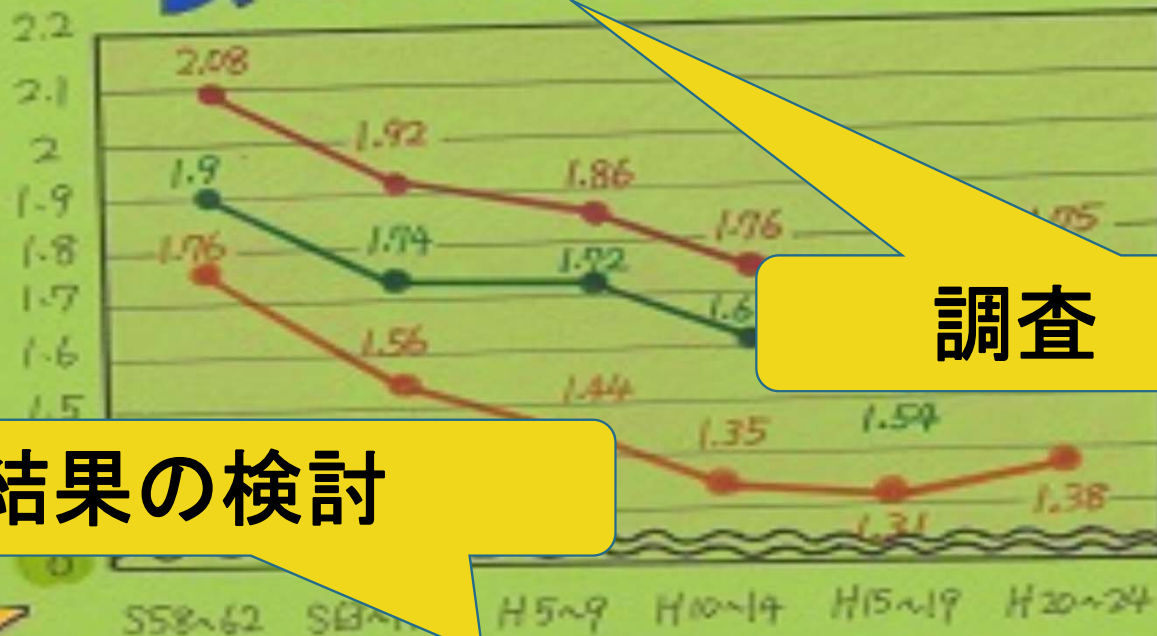
(国立社会保障・人口問題研究所及び西米良村独自推計)

3. 出生率の変化

西米良村

宮崎県

全国



調査 → 理解

結果の検討

(人口動態保健所)
市町村別統計
(厚生労働省)

出生率は低下してきているものの、
宮崎県や全国と比べると、高いことが
分かります!



4.

ではなぜ、出生率は高いのに 人口が減少し続けて
いるのでしょうか？

	平成 15年	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年
出生者数 (人)	7	9	10	8	15	10	10	10	10	8	8
死亡者数 (人)	22	17	30	17	24	30	24	24	24	24	24

新たな疑問の発生

結果の検討

調査 → 理解

死亡する人数のほうが
多いので、年々人口は
減少しています。



推測

このままでは **村存亡...**

これを防ぐために、村では様々な取り組みを行っています。

- 子育て支援券(月8000円分)の支給
- 中学生以下の医療費が無料
- 第3子以降の保育料免除
- 高校生・大学生に支援

結果の検討

調査
↓
理解

2010年には **750**人になると予測されていたが
村民は **実際は 1200**人!!

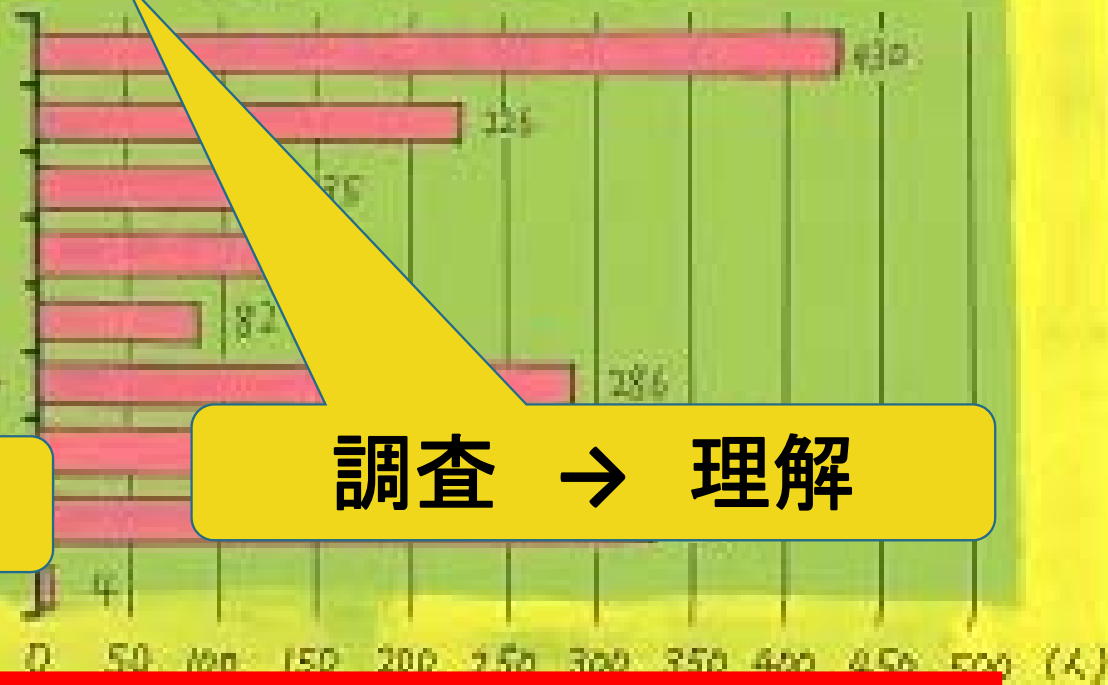
(西米良村 地域福祉(活動)計画)

5. 西米良村からしたい「福祉のむら」

・平成 25 年実施

・回答者：村民 433 人

- 町内での交流が、助け合いができる村
- 差別や偏見のない、誰もが尊敬される村
- 安心して子育てできる村
- 高齢者や障害のある人も安心して住める村
- 高齢者や障害のある人も安心して住れる村
- 将来にわたり、暮らしやすい場所/家になる村



自分なりの考察

調査 → 理解

西米良村の良さを村外に発信すること、幸せ度の高い村にすることで、私たちのふるさと西米良村も未来に残していきたいです！

感想

私が統計グラフをかき始めたのは、15年間生まれ育ってきた西米良村について知りたい、そして、たくさんの人にも知ってもらいたいと考えたからです。私の住んでいる西米良村には高校がないため、中学校卒業と同時に村を離れることになります。その前に、村の現状と未来について知っておきたいと思い、西米良の人口の変化をテーマにしました。予想以上に人口減少のペースが速く、このままでは、村が亡くなってしまうのではないかと、不安に思いました。西米良村には良い所がたくさんあります。人は温かく、自然は美しいところです。統計グラフの作成を通して、自慢のふるさとを残すために、自分にできることは何なのか、考えることができました。また、様々な情報を整理し、活用する力が身についたと思います。これまでお世話になった西米良村に、次は恩返しをする番です。村民みんなが幸せな村にすること、村外の人にも西米良の良さを発信することで、いつまでも笑顔の絶えない村にしたいです。最後に、統計グラフコンクール全国大会において、このような賞をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

5 考察

○ なぜ、受賞することができたのか？



○ 特別な指導をしたわけでは・・・



○ 客観的な分析と熱い想い



○ ふるさとへの想いが、人の心に届いたのでは・・・

6 今後の取組

- (1) 統計グラフ作成を通じた協同的な取組
- (2) ICT活用
- (3) 「なぜ」で終わらず、思慮深く行動できる生徒の育成

ご清聴ありがとうございました。